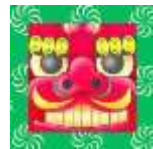




神郷 公民館だより



謹賀新年

神郷校区の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素は、公民館運営に関してご支援、ご協力を戴きましてありがとうございます。昨年も各事業が円滑に進行、推進できましたことは、各種団体、地域住民の皆様方の多大なるご協力、ご支援の賜物であると感謝申し上げます。



地域住民のために社会教育に推進する拠点、施設としての中心的役割である公民館は、人々が気軽に「つどろ」場であり、自らの興味・関心に基づいて社会の要請に答えるための知識・技術を「まなぶ」場であり、地域の様々な機関・団体を「むすぶ」場です。神郷公民館の令和二年の目標として住民同士が「つどろ」「まなぶ」「むすぶ」ことを即し、人づくり、地域づくりを進め、地域の社会的課題に対応するため関係機関と協力して地域の発展を目指したいと思っております。又、地域の宝である子どもたちのために「学校支援地域本部事業」や、放課後や週末に安全・安心な子ども居場所づくりを行う「放課後子ども教室推進事業」や、小・中学校との連携を図っていく「コミュニティスクール」にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

三月には公民館をより快適に利用していただくために一階トイレの改修工事が完了し、二階トイレも新設されます。本年も公民館の一層の躍進に職員一同全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願致します。

迎春



校区の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素から校区の各種行事並びに諸活動に対しまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。本年も一層のお力添えのほどよろしくお願いたします。

令和二年元旦 神郷校区連合自治会 会長 藤原 説夫

令和元年度 人権標語

《一年生》

ともだちのやまごころにこぼれ、げんき100ばい

一組 石川 華(けい)

おもいやる やまごころをもちで、こころほがほが

二組 一宮 愛心(あまのこ)

つないだ手あつたかい みんなひとりにやらないだよ

三組 山田 佑佳(ゆうか)

《二年生》

「ニコニコ」は あつたかじよば、こころいふやこつ、えがおいっばい

一組 矢野 心美(こころみ)

さあおいで！ みんながはいれる なかまのわ

二組 溝淵 篤末(あつま)

だいじょうぶ？ きみのゆうきで、金メダル

三組 玉井 曉登(あきと)

《三年生》

目こ目を合わせて、ニコニコわらおう、心と心つながるよ

一組 中野 晴登(あきと)

はじめよう やさしい心 自分から

二組 浮田 結生(ゆい)

みつげよう みんなのいいこと、さがし隊

三組 玉木 鈴乃(すずの)

《四年生》

「やめて！」と言えない人もいるんだよ。わかっあけて、心のいたみ

一組 難波江 奎志(けいしん)

「待ってるよー！」「友の手紙にすくわねる。

二組 荒井 颯斗(はやと)

「やめようよ。」「その言ってるのは、友だから

三組 曾我部 茅依(ちい)

《五年生》

どんな時も 笑顔に勝る ものには無し

一組 深江 律希(りつき)

やめようよ 言える勇氣 真の友

二組 宮内 樹月(いつき)

やめようよ こころをむすぶ エネルギー

三組 小野 紗染(さし)

《六年生》

変わるのには まわりじゃなくて 自分から

一組 田中 心菜(こころな)

伝えよう 感謝の気持ち 「ありがとう。」

二組 伊藤 葵(あおい)

思い出しつよに作ろうよ。一人じゃないから、だいじょうぶ。

三組 永易 咲夏(さいか)

受けとめよう 考え方はちがってても

四組 渡邊 未菜(みな)

神郷俳句教室

母と行くゆつくりと行く秋の道

安藤 由子

山の木々日毎濃くなる秋の色

市川 由紀子

一句詠み秋風涼し又一言

岩崎 倣昌

上向きに一步前進冬銀河

内田 八重子

縁に干す赤色美しき唐辛子

小野 美重子

新涼や夜空に光る星遊び

加藤 ミドリ

光芒や寂かに釣瓶落しの伊予

加地 清子

貨車過ぎる余韻線路に霜の夜

永易 千鶴子

秋暁や訃報放送よく聞こゆ

三好 寿恵子

薄氷を杖のなすまま触れてみる

村上 生子

冬うらら路傍にがらくた市が立つ

阪上 史琅

大掃除のお礼

12月8日に神郷公民館・小学校校体育館の大掃除を行いました。年末のお忙しい中、大勢ですみずみまで掃除して頂きありがとうございました。おかげ様で新しい年を気持ちよく迎えることができました。



探訪シリーズ

江戸時代の俳人・松神子村田ノ上の小野奇丈

昔この
道草をしつ
春の月



奇丈の句碑

江戸時代の俳人・松神子村田ノ上の小野奇丈の句碑が、田の上の大師堂（新四国83番札所）の境内にあります。「昔この道草をしつ春の月」という句です。

奇丈は、寛政11年（1799）に松神子村田ノ上の小野（榎の本）分家の長男に生れ本名は彦助で、橙園また柏悦とも号したといい、明治12年81歳の生涯を終えるまで俳句の道にいそしんだとあります。

文献によると、新居浜地方俳壇の発祥は西条城下町の家中であり、松山・今治・小松も同様に地方文芸は城下町を中心に流行を見ました。そして、元禄時代に芭蕉が俳風を一新してから蕉門の正風が天下を風靡しました。この地方においては銅山関係者が進出して俳道にいそしみ、村々の庄屋や富豪もまた興味を示し、寛政・享和の頃に至って地方俳壇の組織が出来たのであります。この頃新居浜地方の俳人に、これまで一茶の寛政伊予の旅で紹介した、沢津の阿弥陀堂で一茶を世話した沢津の橋平、新居浜東町の本宅に一茶を泊めた騎龍、そして一茶が泊まって句会を開いた田の上の庄屋の小野彦之丞（俳号榎堂）の名前があります。

文化文政時代は、江戸文化の熟爛期で、この地方でも神社や寺への俳諧奉納が盛んとなり、文化7年の一宮神社の奉納句額が代表であります。そして願主の俳壇の長老として榎堂が名を連ねており、榎堂の句は「露振ふ、音のしにけり 夜の鹿」であります。

元来田の上の小野家は風流人が多く、寛政7年一茶が小野本家に吟杖を留めて以来、小野一族の俳諧に志すものが多く、文化文政時代から奇丈・画中・羅月・三千丸・夏暁・敬吾らが相次いで俳壇に躍り出たが、中でも奇丈が優れていたとあります。

幕末の俳壇の世界では、尊王攘夷の議論をよそ目に、嘉永・安政・万延・文久・元治・慶応・明治と俳壇は別の次元でありました。垣生法泉寺句額献納、宇高八幡神社句額献納、等々幕末30年の句作は量において豪勢であり、俳壇の世界は一般の社会まで浸透しました。幕末の俳人に奇丈の名があります。

安政3年（1856）の夏に、小野一族の瓢堂・其蓮・鶴岱・鶯呼・都克・暁雨・寿亭の7人が願主となり宇高八幡神社に句額を献納しております。代表作を紹介します。

見心を 奪われている 牡丹かな 小野 瓢堂
神移す 神輿を覆ふ 若葉かな 小野 其蓮
松の月 はなれて梅の 月夜かな 小野 鶴岱

<< 公民館からお知らせ >>

1月8日（水）11:00～12:00 神郷公民館において、神郷いきいきクラブさんが作って下さった「七草がゆ」をいただきます。ご近所お誘い合わせのうえお越し下さい。
参加費 無料

お手玉・けん玉遊び大会

多世代との交流と触れ合いと昔遊びの継承を目的にお手玉・けん玉遊び大会を開催いたします。ご家族揃ってご参加下さい。



日時 令和2年1月25日（土）10時から12時
場所 神郷公民館 大会議室・1階和室
参加費 無料 ※参加賞あります
服装 動きやすい服装、ご自分のお手玉・けん玉がある方はご持参下さい。
内容 お手玉・けん玉パフォーマンス
お手玉遊び・けん玉遊び・ヨーヨーお手玉遊び
申込 老人クラブ、公民館（Tel 46-1181）
1月15日まで

神郷小学校昔の遊び 11月21日
公民館探検11月27日 しめ縄作り12月23日

神郷小学校1年生の「昔の遊び教室」が11月21日開催され、老人クラブ・神郷史情・お手玉クラブ・リフレッシュ体操の皆様が協力して下さいました。

11月27日には約90名の2年生児童が公民館に施設見学に訪れ、柴田館長からの公民館の概要説明班、いきいき友の会さんのパン作り体験班、お手玉クラブさんによるお手玉遊び班の3班に分かれて学習しました。

12月23日には5年生児童が老人クラブさんからしめ縄つくりを教えて頂きました。

小学生は地域の伝統等を学び、関わった地域の方々から小学生から元気をもらいました。



1月（睦月）の行事予定

1～3日	年始休み	
6日（月）	御用始め	
	19:00～ 健全育成部定例会	神郷公民館
7日（火）	19:00～ 老人会長会	〃
8日（水）	11:00～ 小・中学校第3学期始業式	〃
	18:00～ 七草粥	〃
	18:00～ 運審会	〃
10日（金）	13:30～ 見守り推進協議会	〃
12日（日）	8:00～ 手みやげ事業	〃
15日（日）	ドッチビー	神郷小学校
16日（木）	19:00～ 幼稚園卒園パン作り	神郷公民館
	19:00～ 社協事務局会	神郷公民館
19日（日）	13:30～ 新居浜風あげ大会	マリンパーク
23日（木）	19:30～ 連合自治会長会	神郷公民館
25日（土）	10:00～ 三世代お手玉けん玉遊び	神郷公民館
28日（火）	19:30～ 補導定例会	神郷公民館